

2024年春

宇宙電波懇談会 総会

2024年3月18日（月） 12:00-13:00（オンライン開催）

<https://us05web.zoom.us/j/86201303144?pwd=vS8utp6z4mWs9PNHilqJxBdx2FbEKc.1>

ミーティング ID: 862 0130 3144

宇電懇運営委員会：藤澤健太（委員長）、江草芙実（副委員長）、河野孝太郎、百瀬宗武、高橋慶太郎、田村陽一
宇電懇事務局（国立天文台ATC）：松尾宏（事務局長）、金子慶子、小嶋崇文

議事次第

1. 運営委員会開催状況
2. 宇電懇シンポジウム
3. 文科省のロードマップの状況
4. 国立天文台運営会議委員の推薦
5. 次期宇電懇運営委員
6. 科学戦略委員会での議論について
7. 宇電懇ニュース
8. URSI関連報告、学術会議報告
9. 事務局活動報告
10. その他、各種報告・意見交換

1. 運営委員会開催状況

- 運営委員会開催状況

 - 10. 2023/10/27

 - 11. 2024/01/04

 - 12. 2024/03/05

- 主な議題

 - 宇電懇シンポ、日本天文学会代議員の推薦、国立天文台運営会議委員の推薦、次期運営委員会・事務局、宇電懇総会、宇電懇ニュース等

 - 議事概要は宇電懇ニュースNo. 123で公開予定

 - <http://www.udencon.sakura.ne.jp/news/>

2. 宇電懇シンポジウム

- シンポジウム
 - 日時：2024年3月4日(月)～5日(火)
 - 場所：国立天文台 三鷹キャンパス すばる棟 大セミナー室
 - 形式：現地参加 + Zoom
 - SOC：宇電懇将来計画検討ワーキンググループ
- 参加者
 - 3月4日(月)：137名（現地：72名、zoom：65名）
 - 3月5日(火)：124名（現地：67名、zoom：57名）



「電波天文分野のサイエンスロードマップ」

- ▶ 電波分野の主力観測装置である ALMA では、ALMA 2030 Development Roadmap の最優先課題である、Wideband Sensitivity Upgrade (WSU) が本格的に始まり、さらに新しいミリ波・サブミリ波天文学を開拓しようとしています。一方、全電波波長域での将来計画も複数計画・検討が進み、高周波数・低周波数双方での魅力的なプロジェクトが計画されています。このような状況の中、**国立天文台のサイエンスロードマップ**の検討が進むなど、サイエンスの重要性と金銭的・人的リソースの活用による、将来像の戦略的構築の議論も進みつつあります。本シンポジウムでは、我々がおかれた現状を理解した上でそれぞれの計画を概観し、**電波天文コミュニティとして目指すべき針路**を議論します。また、現在進行中のプロジェクトに関しても、将来計画にどのように接続できるのか、の観点での議論も行いたいと思います。
- ▶ さらに、電波分野での最新成果を皆さんと共有するために、**若手の研究発表セッション**を予定しています。いくつかの学位取得者を中心とした口頭発表に加え、ポスターセッションの時間を（休憩時間中では無く）設けます。学生に対する研究の奨励を目的として、**ポスター表彰**を行います。また、**対面の懇親会**も開催します。

優秀発表者の表彰

- 宇電懇シンポジウム2024では、若手による優れた研究発表の表彰を行った。表彰の目的は学生及び若手研究者に対する研究の奨励で、宇電懇としては初の取り組みである。今回は表彰の対象をポスター発表に限定し、審査は宇電懇運営委員6名が行った。審査の結果、右の方々を表彰することを決定した。おめでとうございます。

• 最優秀発表賞（2名）

▶ 萩本将都（名古屋大学）

- 北半球最高感度ミリ波サブミリ波ヘテロダイン受信システムLMT-FINER: 広帯域デジタル分光計の線形性の評価

▶ 丹羽綾子（筑波大学）

- 南極テラヘルツ強度干渉計に向けた1.5 THz光子検出器の開発

• 優秀発表賞（3名）

▶ 西本晋平（大阪公立大学）

- 赤外線リング構造検出に向けた深層学習モデルの開発

▶ 喜久永智之介（熊本大学）

- Low-frequency pulse-jitter measurement with the uGMRT I: PSR J0437-4715

▶ 松本健（大阪公立大学）

- 月面天文台 TSUKUYOMI に向けた電圧増幅受信システムの実証実験

3. 文科省のロードマップの状況

- 「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想（ロードマップ）」
 - 文部科学省が3年ごとに策定、応募計画にはコミュニティのサポートレターを求める
 - 電波天文関係ではSKA1、LiteBIRD、ATT10（その後ATT12に変更）の3計画が応募
- 宇電懇の対応
 - 宇電懇運営委員会では、日本学術会議「学術の中長期研究戦略」にこれらの3計画を推薦した経緯を踏まえて、今回のロードマップ2023へのサポートレターを提出した
- 文科省の決定
 - 令和5年12月22日、文科省はロードマップ2023を公表
 - LiteBIRDは掲載されたが、SKA1、ATT12は不掲載だった
 - https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1423056_00026.htm

4. 国立天文台運営会議委員の推薦

• 経緯

- 国立天文台運営会議は国立天文台の運営方針を議論する委員会である。運営会議には大学や国立天文台以外の研究所に所属する11名が外部委員として参加している。外部委員は研究者コミュニティと国立天文台の間を取り持つ任務があるため、外部委員の決定においては研究者団体が推薦を行うこととなっている。
- 2023年12月11日、国立天文台の吉田副台長から宇宙電波懇談会に対して、次期(2024/4 – 2026/3)外部委員推薦の依頼があった。

• 推薦の方針と手続き

- 方針：被推薦者を決めるために、2024年1月19日を締切として、会員による投票を行う。投票は1人当たり最大3票とする。
- 投票結果：投票者数55人、投票総数153件、投票された方計42人。
- 議論：宇電懇運営委員会ではこの結果に基づいて、被推薦者としてふさわしいこと、過去の委員歴、ジェンダーバランスなどを考慮して議論を行い、最終的に下記の方々を候補者として決定し、国立天文台に推薦した。

• 被推薦者（順不同、敬称略）

- 久野成夫（筑波大学教授）
- 河野孝太郎（東京大学教授）
- 小林かおり（富山大学教授）
- 新沼浩太郎（山口大学教授）
- 米倉覚則（茨城大学教授）

5. 次期宇電懇運営委員

- 経緯

- 2024年3月末で第16期の現委員の任期が満了となる。規定により、現在の運営委員のうちこれまで1期2年委員を務めた江草・高橋・田村の3名は継続となり、2期4年委員を務めた河野・藤澤・百瀬の3名は退任となる。

- 投票

- 退任者の後任となる次期委員の選挙の通知を2024年3月1日にryunetに送付し、同日から3月14日にかけて投票を行った。投票者数は107、投票総数は319であった。投票の結果、下記の3名が選出された。次期運営委員の任期は2024年4月1日から2026年3月31日である。

- 次期運営委員（新任、敬称略）

- 赤堀 卓也（国立天文台）
- 泉 拓磨（国立天文台）
- 島尻 芳人（九州共立大学）

※宇電懇事務局の交代について

- 運営委員の交代に伴い、宇電懇事務局も交代となる。次期事務局は東北大学大学院理学研究科（宇電懇会員は3名）、事務局長候補者は三澤浩昭さん、任期は2年間である。

次期運営委員よりご挨拶

- 赤堀さん

国立天文台の赤堀です。SKAO評議会出席のため、総会に参加できず申し訳ありません。運営委員に選ばれたということで、ご期待に添えるように精一杯務めたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

- 島尻さん

九州共立大学の島尻です。今回、入試業務が入ってしまい総会に参加できませんでしたでしたが、今後、国内外の電波望遠鏡および装置の運用と、それらを使った電波観測の研究の経験を活かして、宇電懇の発展に貢献していきたいと思います。よろしく願いします。

6. 科学戦略委員会での議論について

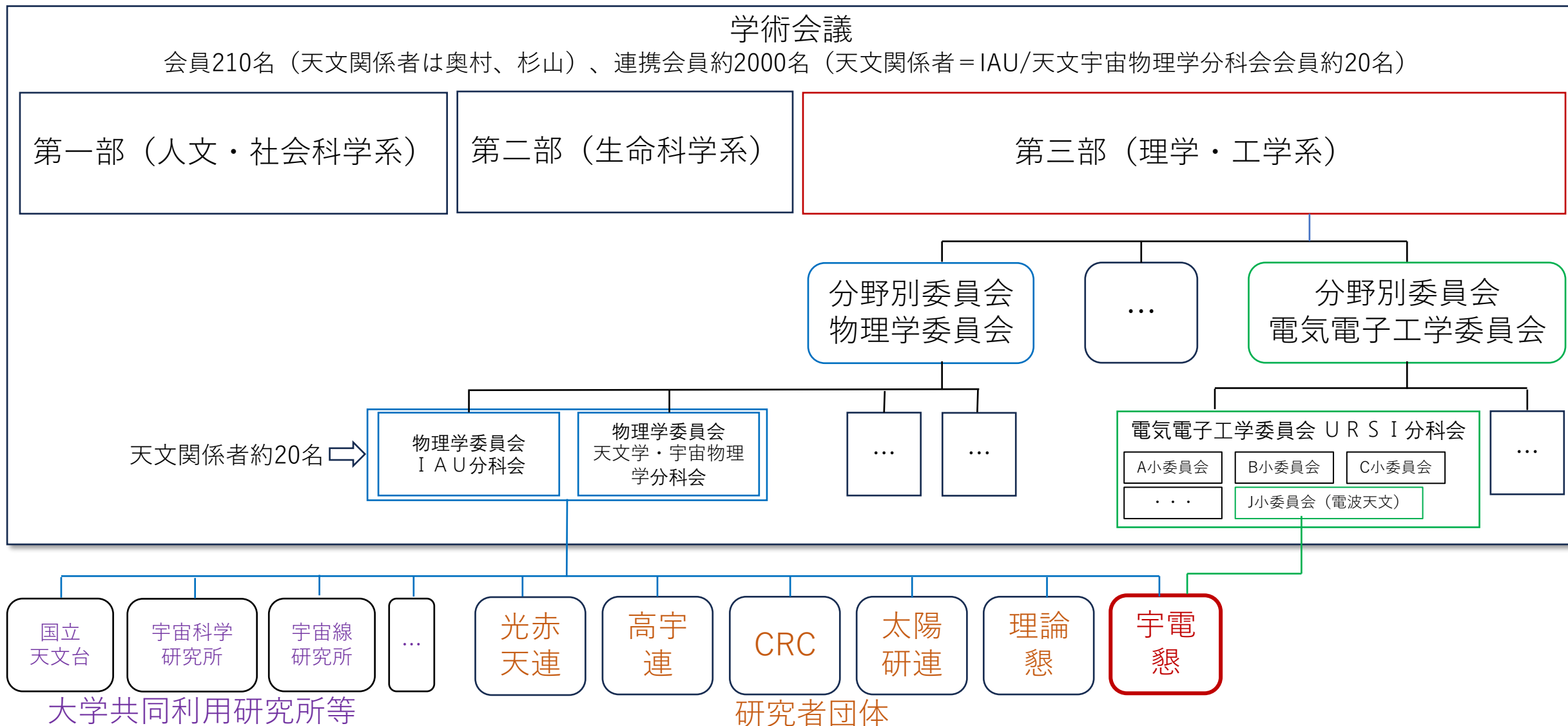
7. 宇電懇ニュース

- 会員の情報媒体
 - <http://www.udencon.sakura.ne.jp/news/index.html>
 - No. 123近日発行予定
- 目的
 - 宇電懇会員の交流と情報交換の媒体
 - 宇電懇会員間に連帯感→電波天文学の発展を期待
- 発行予定と内容
 - 年数回発行予定
 - 宇電懇シンポ、将来計画、活動報告、各研究拠点・研究計画の紹介

8. URSI関連報告、学術会議報告

- URSI：委員の改選
 - 委員会および小委員会委員の任期は3年
 - J小委員会（電波天文）の委員改選
 - 慣習：宇電懇運営委員が務める
- 学術会議（天宇/IAU分科会）
 - 第26期：2023/10～2026/9
 - 天文学関連（正）会員：奥村幸子、杉山直
- 天宇/IAU分科会委員
 - 奥村幸子、倉本圭、杉山直、浅井歩、生田ちさと、今田晋亮、梶田隆章、坂井南美、佐々木晶、新永浩子、住貴宏、田代信、常田佐久、中畑雅行、林正彦、深川美里、藤井良一、藤澤健太、村山齊、山崎典子、山田亨、渡部潤一
- 議事次第
 - 以下のURLを参照
 - <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/bunya/buturi/26/giji-tenmongaku.html>
- 法人化について
 - 学術会議（現在は政府の一組織）を法人化する議論がある

学術会議と宇電懇の関係 ([参考URL](#))



9. 事務局活動報告

2023/9-2024/3 松尾 宏 金子慶子 小嶋崇文（国立天文台・先端技術センター）

- 会員管理（詳細は次ページ）
 - 入退会、アドレス変更、メール不達への対応
- ウェブ対応
 - 宇電懇ニュースの掲載
 - 宇電懇総会・集会の議事録掲載
 - 各種選挙の対応
- 宇電懇シンポのLOC
- 予算管理

※宇電懇事務局の交代について

- 次期事務局は東北大学大学院理学研究科（宇電懇会員は3名）、事務局長候補者は三澤浩昭さん、任期は2年間。

会員の動向（2023/9/26以降）

会員数：前回(2023.09.26)報告時	385名	
現在(2024.03.17)	393名	
入会	12名	
うち再登録/登録整理	6名	
退会	4名	
うち強制退会	0名	(退職や卒業を伴うメール不達 <u>※できればご連絡ください</u>)
うち登録情報整理	3名	
登録情報変更手続き	20名	<u>情報変更時はすみやかにご連絡を</u>

- 宇電懇会員の勧誘について、よろしくお願ひします。

- 入会・変更届（Excel Format）

※フォーマットを使用していただけると作業がスムーズですが、必要情報のみの連絡も可です。

- 加入希望者氏名(旧姓使用など通称でも可)
- 上記の読み仮名
- 連絡先住所（都道府県から。郵便番号も）
- 所属機関(空白可)
- 連絡先電子メールアドレス ryunet ML を直接受け取るアドレスを登録ください
- 会費・入会金などは無料です。

10. その他、各種報告・意見交換